

協定留学近況報告書

記 入 日	2016年 4月 12日
留 学 先 大 学	西シドニー大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):人文学部, (現地言語での名称):School of Humanities and Communication Arts <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2016年2月-2016年11月
明 治 大 学 での 所 属	国際日本学部国際日本学科__専攻 / __研究科__専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部2年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生



I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

留学前は必要な手続きに関してインターネットを利用して、大学のホームページや日本語での留学ガイド、他に留学した人のブログにも頼りながら手続きを進めました。いろいろな情報に目を向けることで留学への意識を高くキープできました。そして重要な書類はきちんとコピーを取り、ファイルにしまっておくと頭も整理されて便利です。またオーストラリアに関する基礎的な知識や観光したいエリアを調べて期待感を膨らませることも準備の一環だと思います。

私が準備不足だったと感じることは、授業に関連する知識の習得です。授業が確定してから、日本でもっと本を読み、予習をしていれば授業の内容が簡単に入ってくることもあったと思います。英語が多少早くて理解できないならまだしも、基礎的な知識が欠けていれば英語以前の問題だと思い、反省しています。また少しでもキャンパス周辺の地名を知っておくことで散策もしやすいですし、他の留学生と新しい話題をもっと提供することができたと思いました。準備で大切だと感じたのは、自分の留學生活の様子を事細かにイメージすることです。リスクマネジメントと同じで、起こり得ること全てを想定し、それに対処できる状態を作っておくことがまさに準備だと実感しました。よって質の高い準備は詳細な留學生活のイメージから生まれると思います。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: 学生ビザ	申請先: オーストラリア政府 移民局 (Department of Immigration and Border Protection)
ビザ取得所要日数: 即日 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: AU\$ 555.94 (46,000 円程度)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

ビザの申請に必要なのは、パスポート及びそこに記載された個人情報と入学許可証、OSHC の加入証明(加入すれば ID を取得できるのでそちらを利用)、クレジットカード(親族名義も可)等々です。

具体的な申し込み手順を教えてください。

まず、オーストラリアでの留学に必要な学生ビザはオンラインで申請が可能です。英語で「Australia student visa apply」と検索すれば上記に述べた申請先のページにアクセスでき、ビザの申請ができます。その際、まずは個人のアカウントを開設してから、必要に応じて情報を入力し、あるいは質問に答えます。(健康状態や持病、犯罪歴に関する自己申告)そのようにして手続きを進め、最終的に支払いを済ませ、ビザは1日で取得できます。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

ビザ取得に関して困った点・注意点

オーストラリアが特殊なのか、日本との関係性からなのかわかりませんが、面接やパスポートの認証コピー、戸籍謄本、健康診断などは一切必要なく、すべてオンラインで申請し、電子管理されます。「在日オーストラリア大使館」のホームページには健康診断や人物審査に関して言及しているため、私にとっては少し煩雑でした。また入国のスタンプが欲しい方には残念ですが、オーストラリアの学生ビザは電子的に管理されている(eVisa)ので、入国の際スタンプとビザシールはありません。ちなみに私はなぜか、そのシールがなかったが故に National Australia Bank では銀行口座を開設できませんでした。ビザの申請に関しては非常に大切な手続きなので、1日ですが、時間に余裕があるときに完了させるのがよいと思います。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

お金のことはよく親と相談し、もし不安であれば、初めに持参する現金は多めがよいかと思います。銀行口座を開設しても、その口座に日本から送金する場合には入金まで1週間程度かかります。最初の頃に何かイベントごとがあったとして、金銭関係で不安に感じて積極性を失うのはもったいないと思うので、無駄遣いを勧めているわけではありませんが、あまり気にしないで済む状態が望ましいと思います。(携帯電話、銀行口座については下記項目で述べています)

ビザを取得するために、オーストラリアの留学生向け健康保険(OSHC; Overseas Students Health Care)に加入する必要があります。大学から入学許可証(学生番号)をもらったあとにオンラインで申請、購入します。保険の期間は出国日から帰国日なので、航空券をとる前であれば余裕ももたせた方がよいでしょう。費用はだいたい5万円程度です。

いずれの項目においても、出発する前にできるだけたくさん情報を集め、自分で比較分析し判断すれば、基本的に問題なく手続きできると思います。また、そんな風にしてオーストラリア生活に関する知識を増やすだけでも留学生同士の会話のネタになったり、あるいは自分がそれを知っていることで周りの留学生を助けることができたりしますので、ぜひ準備も留学の一部だと思って進めてください。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	Jet Star				
航空券手配方法	Jet Star の公式ホームページ ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	シドニー(キングスフォード・スミス)国際空港	現地到着時刻	午前 11 時頃		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	40分				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

公共交通機関の利用に関しては、Google Map で「International Airport Station」から目的地の最寄駅(キャンパス名)までの案内を検索すれば間違いなく表示されます。

ただ、留学生は無料でピックアップサービスを利用できるので、そちらを利用の方が賢明だと思います。ピックアップサービスの集合場所は国際線ターミナルでしたが、私は乗り継ぎをケアンズ(オーストラリア)でしたために国内線ターミナルに到着したので、国際線ターミナルに移動する際にシャトルバス(\$6.0)を利用しました。

大学到着日	2月10日11時頃
-------	-----------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。	
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input checked="" type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	その他(4人でキッチンなどを共有し、それぞれ個室あり)
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input checked="" type="checkbox"/> その他(現地生2人、正規の留学生1人)
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	西シドニー大学のホームページの「Accommodation」から簡単にアクセスできます。大学内の寮は「Western Sydney University Village」によって運営され、そのホームページでアカウントを作成し、自分の好みの部屋のタイプを選びます。支払いはクレジットカードで、頭金やアクティビティ料金を先に決済すれば申込みが完了です。		

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

私が住んでいる大学斡旋の寮は、「on Campus Accommodation」なのでその名の通り、キャンパス内にあるのでピックアップサービスを利

用すれば簡単です。到着後にその事務室(平日9時~17時)で書類にサインしたら入居可能になります。出国前でわからないこと、不安なことがあればメールで事前に確認もできたので、特にトラブルはありませんでした。また他の留学生で実際に住んでから部屋を移った学生もいるため、それなりに柔軟性はあると思います。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	2016年2月12日
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	私のオリエンテーションは留学生全体のものと同交換留学生用のものと2種類、同日にありました。全体のオリエンテーションはホールが満席になるほどの留学生数で、現地学生のダンスを見たり、真面目な話というよりは明るい雰囲気を楽しみました。後者のガイダンスでは、まず一人ずつ簡単に自己紹介をしました。世界各国から留学生が来ている印象を受けたのと、日本人が私以外には1人だけ(キャンパスは違いました)で正直驚きました。そちらではアカデミックな内容、キャンパスライフ、図書館の利用、履修方法、そして公共交通機関などのオーストラリア生活に関する説明がありました。 またホールの外ではコアラやトカゲ、ヒツジ、ヘビなどの動物と触れ合えたり、無料のコーヒーやお菓子を頂けたりと、歓迎ムードをすごく感じました！
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	2月22日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

現地に到着後できるだけ早く、日本の外務省に在留届をオンラインで提出する必要があります。万が一自分が現地の天災や事故に巻き込まれた場合、在留届が提出されていないと、日本にいる両親等が緊急の連絡や各種行政サービスを受けられません。また帰国する際にも手続きが必要です。インターネット環境さえあれば、時間もお金もかからずにできるので、早いうちに済ませるといいです。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

健康診断や予防接種の必要はありませんでした。ただし、現地の病院など医療費はかなり高いので、日頃から予防に努め、健康的に生活を送る必要があると思います。
また日本から頭痛薬やカゼ薬、絆創膏などを持っていくと大変便利です。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

銀行口座を開設する際に必要なのは「パスポート・電話番号・現地の住所・最初の預金(私は\$100 入金しました)」です。あとは念のため、ビザ承認証のコピーもあれば便利です。現地の住所はキャッシュカードをその住所に郵送するために必要なのですが、キャンパス内の寮で使用する住所が2つ(いわゆる住んでいる場所を示す住所・郵便用の住所)あり、最初で慣れておらず紛失が不安だったので、1週間後に自分で受け取りに行くと申請したら、それも可能でした。それでも住所の記載は必要なので、必要に応じて紙や携帯電話のメモに控えておくと便利だと思います。
開設する銀行口座に関して、私は当然1つの口座しか持っていないので比べる対象がありませんが、「Commonwealth Bank」を強くお勧めします。おそらく外人のカスタマーに慣れているのか、かなりわかりやすく個室で案内してもらえたので安心できましたし、1年以内の口座利用であれば月額口座維持費はかかりません。そして町の至る所に支店があり、あまり現金を引き出すことはありませんが ATM を探すのにも苦労しません。また、ネットバンクの利用により、スマートフォンのアプリやインターネットでの個人アカウントのページで残高等の口座確認や送金など、様々なサービスが受けられます。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

携帯電話に関して、私は「nittel communications(ニッテルコミュニケーションズ)」という会社がオーストラリアでの留学生用に提供しているレンタルケータイを利用しました。主な用途は電話、SMS、ポケット WiFi 機能です。様々な手続きにおいて電話番号が必須である以上携帯電話が必要なのは当然ですが、意外と SMS をよく利用します。ですが、ポケット WiFi で自分の iPhone を利用する方が圧倒的に多いです。

私は日本のキャリアの iPhone の電話番号を預けている(契約を休止中)のでそちらが月額 500 円、こちらのレンタルしている携帯電話の月額が 3200 円程度ですので、年間(10 ヶ月)でも携帯電話の使用料は 4 万円以下となっています。現地で携帯電話を契約する際に必要なのは、パスポート、住所、支払いオプション(クレジットカード等)です。理想的には携帯電話を一番先に用意し、その次に銀行やその他の手続きに移るのが効率的だと感じます。他にも日本人向けにオーストラリア用の携帯電話を提供している会社があるので、そちらの料金やプランもきちんと検討することを勧めます。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(12月15日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

入学願書に履修を希望する科目を4つ記入して提出し、その後西シドニー大学から郵送される「Offer Letter」に「あなたの履修する科目」として確認が返ってくるので、そのオファーに対し変更がなければ、ひとまず履修する科目の申請は完了です。その後、明治大学の「Oh! Meiji」システムのようなポータルサイトが西シドニー大学にもあるので、「Offer Letter」及び「入学許可証」に記載されている学生番号を利用して自分のアカウントを作成します。(「Western Central」) そうしたら、留学関係のオフィスと連絡を取り、オンラインで履修登録を完了させます。その際、日本と異なるのは、レクチャーとチュートリアル(少人数ディスカッション)が分かれている授業では、そのチュートリアルの授業の希望する時間を選択します。私が履修している授業のほとんどがオーストラリア人学生のため、特に優先されたという実感はありません。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

履修登録を変更、追加することが可能な期間があります。その期間であれば変更は可能です。またその後の1週間程度でその授業をやめることも可能です。

私は4つの科目とも、希望通りの授業を履修することができました。現地の学生の履修科目数もほとんどが4科目です。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00		学校で無料朝食	無料朝食	無料朝食			起床
9:00	勉強	勉強		授業	勉強	起床	
10:00	勉強	勉強	勉強		勉強		外出
11:00	勉強	勉強	勉強	勉強		勉強	
12:00			勉強	授業	授業	勉強	
13:00	買い物		勉強		授業	勉強	
14:00		勉強		勉強			
15:00	勉強	勉強	授業	授業	勉強	試合	
16:00	勉強	勉強	授業	授業	勉強	試合	
17:00		勉強			勉強	シャワー、洗濯	
18:00							
19:00	練習	友人と食事など	練習	夕食	寮のイベント		
20:00	練習		練習				
21:00	シャワー、洗濯		シャワー、洗濯				
22:00	夕食						
23:00			就寝			就寝	就寝
24:00	就寝	就寝		就寝	就寝		

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

西シドニー大学はいくつかのキャンパスに分かれています。選ぶのであれば「Paramatta」か「Bankstown」が良いかと思います。その2つのキャンパスが主要で都市部や空港へのアクセスがよいです。特に前者が一番大きく、留学生も多いです。留学生へのサポートも充実しており、わからないことがあったら気軽に聞ける環境が整っているのですごく勉強しやすい大学だと思います。また、無料の朝食もあるので助かっています。

交換留学生のプログラムは特定の学士の取得を目指さないだけであって、現地の学生とやること、成績の基準は特に変わりません。当然教授もネイティブではない留学生ばかりを気遣ってくれはしないので、とにかく集中して話を聞き、発言できるチャンスを少しでも多く確保しようと努力しています。それでも授業内容や課題でわからないことが多くあるので、授業後などに教授にアドバイスをもらっています。私の授業では期末テストがなく、ほとんどがレポートです。1つの科目につき2つのレポートが授業期間中にあるので、それらと授業の予習を両立させるのがとても大変に感じています。

授業は、教授の指示や質問、問題提起に対して教科書の内容やレクチャーポッド(実際の授業前にポータルサイトで視聴するオンライン授業)を踏まえた自分の意見をディスカッションでアウトプットする、という形式がほとんどです。つまり、授業で基礎的な事実や内容を新しく学ぶことはなく、むしろそれらを授業前に自分自身で消化し、授業で他の生徒の意見や教授の見解などを通して理解を深めるといったものです。

私は大学の寮に住んでいますが、ここに大変満足しています。なぜなら部屋のタイプの選択肢も多くあり、留学生だけではなく、オーストラリア人学生、近くで働く人、他の大学の人が住んでいるため、いろいろな年齢、国の人との交流が可能だからです。私は4人部屋(シャワー3台)に住んでいますが、ルームメイト(オーストラリア人、バングラデシュ人、ナイジェリア人)にも恵まれました。それに加え、ほぼ毎週のように寮でイベント(ピザやバーベキュー、スポーツ、または映画鑑賞等)があり、そこで新たな友達をたくさん作ることができました。友人の部屋でパーティーをしたり、自分の部屋に招いて料理を振る舞ったりもできます。もちろん、個室が確保されているのできちんと休むことも容易です。

生活について、まずお金の管理を学ぶことができるのは留学の重要な側面だと実感しました。親が日本から送金してくれているので完璧な自立を果たしたとは言えませんが、海外での自分の生活全般を考慮して、無理なく月々の予算を立て、計画的にお金を遣うことができる経験は、将来自分がお金を稼ぐようになった時、必ず役に立つと思いますし、改めて親がいかにして自分を支えてきてくれたか再確認できます。洗濯も料理も掃除も、全てこなすのは自分になるので、常に自分の成長を意識して取り組めば楽しくなると思います。例えば外食は高いので自炊する力もつきますし、そうなるに連れて日々の食材調達や料理が勉強のリフレッシュに変わりました。日本のものに近いお米も食べられます。

またサークルや学生団体など、自分の興味のあるものに所属できればいいと思います。私は最大の精神的リフレッシュとして地元の社会人サッカーチームに所属して毎週リーグ戦で闘っています。プレー中の複雑な会話やスラングについては難しいですが、それでも何よりプレーで自分を表現できる場所があることに感動し、日本では見つけられない経験をしていると実感しています。そういった自分の好きな環境では、そこで出会った人たちからいろいろなアドバイスや刺激を受けることができますし、自分の将来を見つめ直すきっかけにもなると思います。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

すべて英語の環境、特に授業で不安を感じる人もいるかと思いますが、周りの学生や教授はかなり親切にサポートしてくれます。これは本当ですのでその点は安心していいのですが、日本にいるうちから英語の勉強は欠かさずにするべきです。それによって授業についていけることも多くなりますし、会話の楽しさも確実に増します。

留学を最大限に活かすには、やはり積極性と向上心が大切だなと思います。いろんな人と繋がることでより多くのチャンスを手にできますし、どんなに些細なことからもその全てを吸収するという強い心意気で臨めば、自分の成長の糧になるはずですが、毎日頑張りすぎると気持ちを維持するのが難しいと思うので、休むときは休むというメリハリも必要だと思います！

あとは、日本にいるうちからきちんと勉強して GPA をできるだけ高くし、自分の留学でのプランやイメージをどんどん考えて準備していけば必ず道は開けると思います。留学そのものはもちろん、渡航前も後も全て自分の取り組み次第だと思いますので、留学を志した以上はもう、留学が始まっていると思います。ですから、正しい姿勢で今もコツコツと頑張ってください、応援しています！

